

## 《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

\* 科目 No. 2921

## 科目概要記入欄

1. 開設大学	島根県立大学		開催方法	☐対面（ ）			
				☐オンライン（同時・録画・資料提示）			
				■その他（未定）			
	正式科目名 副題	国際金融論		配当年度	3・4		
	学問分野	番号	23	名称	社会科学系 経済学		
3. 担当教員名	秋山 誠一						
4. 単位数	2 単位		5. 開講学期	後期集中			
6. 開講期間 曜日・時間	2023 年 2 月 ※調整中 曜日 : ~ :						
7. 基礎知識の有無	2. 「基礎知識を必要としない科目」						
8. 募集人数	5 人		9. 選考方法	書類選考			
10. 科目内容・ 授業計画	<p>【国際金融論で何を学ぶのか？】 グローバル化の下で貿易と資本の自由化が進んでいます。それとともにこれらの国際取引が為替相場に大きな影響を及ぼしています。逆に為替相場の動きが貿易や資本取引に大きな影響を及ぼします。そこで、国際金融における為替取引や為替相場の基礎知識と操作を学び、国際金融が企業活動や私たちの生活に及ぼす影響を少し秩序立てて学んでいきます。</p> <p>【なぜ国際金融論を学ぶのか？】 国際金融のできごとは、ちょっと難しそうで、私たちの日常生活に関係が薄いように思われがちです。しかし、円が安くなれば、石油をはじめ、輸入品の価格は高くなり、私たちの生活はくるしくなります。また、円が高くなれば、商品を輸出している企業では、円が高くなる分、手取りの円は少なくなり、価格を引き上げれば輸出が減り、企業の利益は減少します。為替相場の変動は、企業活動、われわれの生活、ひいては私たちの就職にも大きな影響を及ぼします。国際金融の知識あるかないかでは大きな違いがあります。</p> <p>【到達目標】 世界のマネーの流れから、国際金融市場と国際金融制度に関する基礎的理解を深め、国際金融の問題に抵抗なく接することができるようになることです。</p> <p>【授業の内容】 第1回 オリエンテーション、なぜ国際金融を学ぶのか、為替相場の変動と私たちの生活 第2回 外国為替の基礎を理解しよう、約束手形、為替手形、外国為替手形 第3回 外国為替手形の仕組み、内国為替と外国為替 第4回 貿易したらどうやって決済する、貿易決済の仕組み、荷為替信用状取引、 第5回 国際収支とは、国際収支の概念と作成方法、国際貸借表との違い 第6回 国際収支の主要収支項目を見る、 第7回 外国為替相場の動き、表示方法、直物相場、先物相場、銀行間相場と対顧客相場 第8回 銀行の為替業務が相場を動かす、外国為替銀行の業務、為替高操作と資金操作 第9回 よく聞くデリバティブってなに、為替リスクの回避の手段と方法 第10回 国際金本位制とはどういう仕組み、為替相場との関係、国際通貨 第11回 戦後の国際通貨体制の仕組みはどうか、ブレトンウッズ（IMF）体制、固定相場制 第12回 固定相場制はなぜ崩壊したのだろう、要因、国内景気の維持と国際収支の矛盾 第13回 変動相場制の功罪 第14回 ドルは大丈夫、国際通貨ドル、最終決済なき国際通貨制度、バブルリレー経済 第15回 国際金融論のまとめ</p>						
11. 試験・評価方法	3分の2以上出席すること。出席点15点、試験85点の総合評価です。						
12. 別途負担費用							
13. その他特記事項	参考文献： 秋山誠一著『国際経済論』桜井書店、2013年 西村陽造、佐久間陽造著『新・国際金融のしくみ』有斐閣、2020年 その他必要に応じて授業で紹介します。						
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	☐否		
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	☐否		

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。